

日本藻類學會の設立に就て

藻類の研究は植物學の一部門としては勿論のこと、又水産學上から見ても極めて重要な一部門でありまして、水産國日本にとつては特にその然るを感ずるのであります。而して我國の藻學は御承知の如く故岡村金太郎先生によつてその基礎がきづかれ爾來研究者の數も増加し又一般同好の士も全國に亘つて相當の數に達しています。従つて近年此等の人々の間に一つの獨立した學會を設立せんとの聲が大きくなつてきました。そこで昨年來有志の者が相より相談の結果昨昭和27年11月11日、日本藻類學會の設立を見るに至つたことは誠に御同慶に堪えません。

本會設立に至る迄の經過の大要、本會の組織事業等は下に記す通りであります。何卒多數同學同好の士の御賛同入會を希望する次第であります。

日本藻類學會發會に至る迄の過經概要

1. 昭和27年7月28日 東京月島東海區水産研究所に於いて、新崎盛敏、長谷川由雄、黒木宗尙、近江彦榮、瀬川宗吉、須藤俊造、山田幸男等の諸氏會合の際既に前年の舞鶴での日本水産學會大會及びその他の會合等に於て要望された日本藻類學會設立の話が出て次のような申合せを行つた。
 - イ. 來る10月中旬の日本植物學會大會を機として發會を期すること。
 - ロ. 發起人27名の選定。
 - ハ. 三宅驥一、中野治房、田原正人、國枝溥の四氏にはこの企てを通知して御接助を乞ふこと。
 - ニ. 會の名稱 日本藻類學會
 - ホ. 會誌 「藻類」とし、A5判で年2,3回發行
 - ヘ. 會費 參百圓(年額)
 - ト. 事業 採集會、講習會等の開催
 - チ. 設立趣意書の作成等發會までの一切を山田幸男氏に一任すること。
2. 其後種々の點を考慮して、發起人を35名に増加し、山田幸男氏からそれぞれ依頼狀を發送したところ殆んど全員から賛同快諾の通知を得た。又中野治房、田原正人、石川光春(追加)の三氏には山田幸男氏より、三宅驥一、國枝溥の兩氏には、新崎盛敏氏等より、この度の企てに對して御接助を乞ひ、それぞれ御賛同を得た。尙發

起人は下の通り。

新崎 盛敏	藤山 虎也	長谷川由雄	平野 實	廣瀬 弘幸
生駒 義博	今堀 宏三	稻垣 貫一	猪野 俊平	岩本 康三
片田 實	加崎 英男	木下虎一耶	黒木 宗尙	正置富太郎
三輪 知雄	中村 義輝	根來健一耶	岡田 喜一	岡崎 彰夫
近江 彦榮	奥野 春雄	阪井興志雄	瀬川 宗吉	瀬木 紀男
須藤 俊造	高松 正彦	田中 剛	時田 郁	殖田 三郎
梅崎 勇	八木 繁一	山田 知治	山田 幸男	米田 勇一

3. 昭和27年9月25日 函館市に於ける日本水産學會大會出席會員に、本會の設立趣意書を配布した。又、同學會に出席した發起人、長谷川由雄、中村義輝、近江彦榮、阪井興志雄、瀬川宗吉、時田郁、山田知治の諸氏は、26日夜、函館市景福に於て會合し、中村義輝氏が提示した會則草案に就いて話し合いをした。次いで (1)發起人會は10月11日夜が好都合ならん (2)發起人會の案内状に會則原案を同封されたし (3)設立趣意書に發起人名簿及び入會申込書をつけては、等の意見が出た。そこでこの旨を山田幸男氏に傳へ、重ねて發會への何分の御盡力をお願いすることにして散會した。尙この席上發起人に化學專攻學者の參加を求めてはどの發言があつたが未だその機に非ずとの意見が強かつた。
4. 昭和27年10月1日 山田幸男氏より發起人會を東京に於て10月11日午後6時より開會の通知を發送し、同時に設立趣意書を印刷して、これを日本植物學會大會出席會員に配布するよう手配した。

日本藻類學會發起人會議事報告

日 時 昭和27年10月11日午後6時より10時
 場 所 東京大學理學部植物學教室地下室
 出席者 新崎 盛敏 平野 實 廣瀬 弘幸 生駒 義博 今堀 宏三
 猪野 俊平 黒木 宗尙 三輪 知雄 中村 義輝 岡田 喜一
 奥野 春雄 瀬川 宗吉 瀬木 紀男 須藤 俊造 田中 剛
 時田 郁 梅崎 勇 山田 幸男 米田 勇一
 尙其の他學生等數名出席

開會に先だち發起人代表、山田幸男氏から、別項發會に至るまでの經過報告があり、引續き同氏議長となり、會則原案の審議に入り、途中夕食を共にし乍ら、多少の原案修正を行い別項の會則を承認した。次いで、會長の選舉(發起人の互選、無記名投票)

を行い、山田幸男氏が當選した。

その他の主な議題及び報告

1. 會誌「藻類」はA5判とし、年三回発行し、創刊號は來年四月までに發行すること。
2. 名譽會員の推薦。
會長から會の發足時より援助を乞える數氏を、名譽會員に推薦せんとの動議があつたが、他にも之に加ふべき人ありとの發言があつて、結局第一回の大會に一括してこれを諮ることにした。
3. 入會申込書は、別に印刷して植物學雜誌、日本水産學會誌に封入、適當な方法で廣く配布すること。
4. 發起人は、それぞれ最寄の地區で、會員の入會勧誘に努めること。
5. 會設立準備の費用として、生駒義博氏から金壹千圓の寄附があつた旨の報告があり一同謝意を表した。

日本藻類學會發起人會務報告

三宅 謙介 朝倉 隆雄 生島 隆敏 水 裡 子 藤 野 誠年 佐 藤 川
 一 石 田 隆 林 隆 長 坂 隆三 高 田 木 屋 平 野 理 雄
 岡 中 田 宗 伸 藤 原 武 夫 水 廣 吉 岡 川 隆 幸 野 義 雄
 一 世 田 宗 廣 中 田 山 茂 藤 野 誠 田 幸